



滋賀県道路整備 アクションプログラム

2023

つながる
ひろがる

スムーズで
クリーン

快適で
セーフティ

行きたく
なる
居たく
なる



すべての人がどこにいても安全・快適に
移動できる道路整備を目指して



奥山祭り



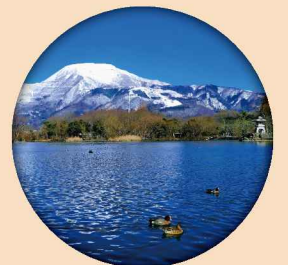
長浜城歴史博物館



地蔵川の梅花藻



奥の洲と竹生島



伊吹山と三島池



古くから交通の要衝として栄えてきた長浜・米原地域は、豊かな自然や歴史文化を活かし社会経済活動を営んできましたが、現在、人口減少、高齢化、自然災害の激甚化・頻発化、コロナ禍を契機とした「新しい日常」への対処等が課題となっています。

持続可能でよりよい世界を目指す国際目標「SDGs」のスローガンでもある「誰一人取り残さない」安全・安心な社会を実現し、多様化するニーズに対応するため、道路事業は、ハード整備とソフト対策を一体的に推進する必要があります。

計画中の（仮称）神田SICを含めた管内4箇所インターチェンジを拠点に、高速道路や国道、地域道路との調和を図り、ミッシングリンクを解消し、既存ストックを有効活用して、県北部の振興を支援する道路ネットワークづくりに努めてまいります。

道路整備アクションプログラム2023 とは

「滋賀県道路整備アクションプログラム 2023」は、滋賀県における道路整備の基本方針である「滋賀県道路整備マスタープラン(第3次)」に基づき策定した、将来10年間(2023年度～2032年度)の具体的な道路整備計画です。

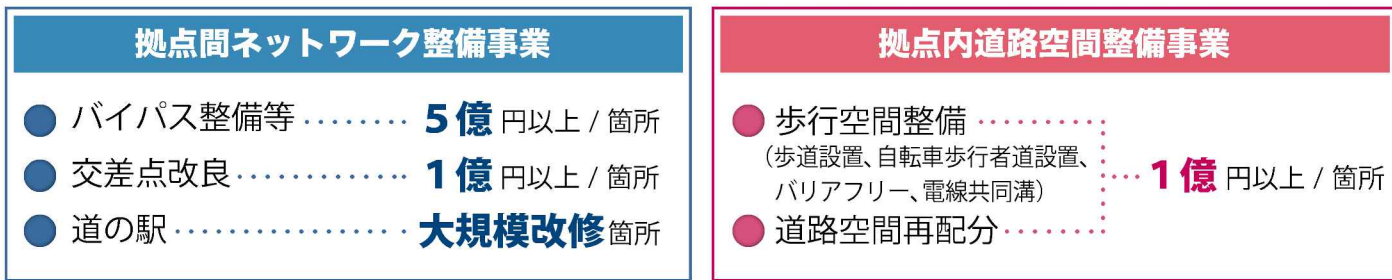
本県の人口は、平成25年頃をピークに既に減少局面にあり、生産力の低下、地域の過疎化の進展などの課題が懸念される中、道路整備の面でも県の基本構想および国土交通省の施策などを踏まえながら、地域の実情に応じた道路整備を進めていく必要があります。

こうした社会経済情勢の変化を背景に、アクションプログラムの見直しを行いました。見直しにあたっては事業の重点化を進め、より効果的・効率的な計画となるよう努めるとともに、県下8地域で行った地域ワーキングなどの取組を通じて、地域の声を反映させたプログラムとなっています。

客観的な評価による道路事業の優先順位づけ

滋賀県の道路整備事業を「拠点間ネットワーク整備事業」と「拠点内道路空間整備事業」に大別し、客観的な評価により点数付けを実施し、優先度の高い事業の整備を推進します。

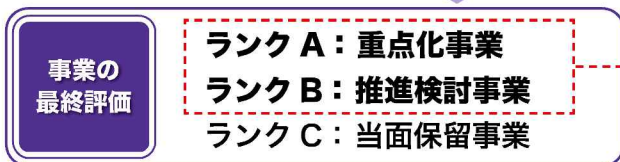
事業の評価では、地域ワーキングにて設定された「地域の重点項目」による地域特性を反映しています。



客観的に点数付け



事業環境など総合的に判断



→ 優先度が高い事業として整備を推進します

アクションプログラム2023 策定の流れ

滋賀県道路整備マスタープラン(第3次)

令和3年度策定

取組の柱とそれらを実現するための施策について

【すべての人がどこにいても安全・快適に移動できる道路整備を目指す】
 “県内外の拠点間ネットワークの強化”
 “安全で快適に移動や滞在ができる道路空間の創出”

柱1

つながる・ひろがる

柱2

スムーズでクリーン

柱3

快適でセーフティ

柱4

行きたくなる居たくなる

❖ 長浜地域ワーキング

目的役割

- ◇ 地域課題の抽出や、その課題を踏まえた今後の道路整備に向けて、広く意見を伺う
- ◇ 客観的評価マニュアルにおける地域特性の評価に必要な「地域の重点項目」を選定
- ◇ 今後の道路整備に関する「地域の声※」の取りまとめ

※「地域の声」とは地域ワーキングで伺った意見をもとにまとめた地域課題やその課題を踏まえた今後の道路整備についての意見

委員

有識者、公募委員、道路利用者、市町職員、経済団体、観光関連団体等

第1回

令和4年
8月1日(月)

5年間を振り返り、地域の道路、交通の問題点や課題等についてご意見をいただきました。

第2回

令和4年
9月30日(金)

第1回WGでいただいたご意見に基づき、「地域の声(案)」「地域の重点項目(案)」を作成、提示し、ご意見をいただきました。

第3回

令和4年
11月1日(火)

「地域の声」や「地域の重点項目」を取りまとめるとともに、地域の課題を解消する箇所を紹介しました。

第4回

令和4年
12月20日(火)

「地域の声」や「地域の重点項目」の最終案を提示し、内容についてご意見をいただきました。



第1回



第2回

地域の重点項目

- ① 緊急輸送道路の並行・結節路線の整備
- ② 交通結節点、生産・物流拠点の周辺道路の整備
- ③ 観光拠点と交通結節点間のアクセス道路の整備
- ④ 中学・高校・大学の通学経路の整備

❖ 客観的評価マニュアル(令和3年度改訂)

拠点間ネットワーク整備

バイパス整備等、交差点改良、道の駅

4項目で評価

01

取組の柱の実現

02

その他評価項目

03

費用便益比

04

地域特性

地域の重点項目

拠点内道路空間整備

歩行空間整備(歩道設置、自転車歩行者道設置、バリアフリー、電線共同溝)

道路空間再配分

3項目で評価

01

取組の柱の実現

02

その他評価項目

03

地域特性

地域の重点項目

将来10年間の道路整備計画

滋賀県道路整備アクションプログラム 2023

すべての人がどこにいても安全・快適に移動できる道路整備

どこに

どんな道路が

いつまでに必要か

10年間の具体的な道路の整備計画

CHECK

詳細は中面へ

拠点間 ネットワーク整備事業

00

整理番号	路線番号	路線名	工区名	事業内容	継続	前期(R5~R9)		着手時期検討
						着手	完了	
①	365	国道365号	野一色	交差点改良	●		●	
②	2	大津能登川長浜線 【(都)世継相撲線】	下坂浜	道路拡幅 (無電柱化)				●
③	40	山東本巢線	甲津原	バイパス整備		●	●	
④	44	木之本長浜線 【(都)豊公園森線】	森・祇園	道路拡幅	●		●	
⑤	242	加田田村線	加田	バイパス整備 (無電柱化)		●		
⑥	244	大野木志賀谷長浜線 【(都)下坂浜本庄線】	本庄	道路拡幅	●		●	
⑦	244	大野木志賀谷長浜線	鳥羽上	道路拡幅		●		
⑧	246	大鹿寺倉線	山室	道路拡幅	●		●	
⑨	246	大鹿寺倉線	多和田	道路拡幅		●		
⑩	265	郷野湖北線	伊部・留目	道路拡幅		●	(●)	
⑪	510	伊部近江線	西野	道路拡幅				●
⑫	510	伊部近江線 【(都)大戌亥山階線】	宮司・山階	道路拡幅		●		
⑬		ピワイチ		自転車通行空間整備 【上級コース】	●		(●)	

(●)部分完了

拠点内 道路空間整備事業

00

整理番号	路線番号	路線名	工区名	事業内容	継続	前期(R5~R9)		着手時期検討
						着手	完了	
①	234	朝妻筑摩近江線	天野川橋	歩行空間整備 (自転車歩行者道設置)		●		
②	243	東上坂近江線	常喜	歩行空間整備 (自転車歩行者道設置)				●
③	243	東上坂近江線	高溝	歩行空間整備 (自転車歩行者道設置)		●		
④	244	大野木志賀谷長浜線	下坂中	歩行空間整備 (自転車歩行者道設置)				●
⑤	263	丁野虎姫長浜線	北新町	歩行空間整備 (自転車歩行者道設置)	●		●	
⑥	509	間田長浜線	本市場	歩行空間整備 (自転車歩行者道設置)	●		●	
⑦	509	間田長浜線	市場	歩行空間整備 (自転車歩行者道設置)	●		(●)	
⑧	556	長浜近江線	八幡中山	道路空間再配分				●
⑨	556	長浜近江線	宇賀野	歩行空間整備 (自転車歩行者道設置)		●	(●)	

(●)部分完了

事業箇所数

拠点間ネットワーク
整備事業

13
箇所

拠点内道路空間
整備事業

9
箇所

参考掲載事業

15
箇所

道路整備アクションプログラム2023 箇所図

長浜
土木事務所



※地理院タイルに事業箇所を追記して掲載

拠点間 ④ 木之本長浜線 (森・祇園)

- 道路拡幅と自転車歩行者道の設置
- 長浜市北部、国道8号と長浜駅、市街地を結ぶ幹線道路の整備



「地域の声」との関連

- ▶災害に強い道路網の整備
- ▶地域の活性化を支える拠点間を結ぶ道路の整備
- ▶観光を軸とした地域活力に繋げる道路の整備

拠点間 ① 国道365号 (野一色)

- 交差点改良と自転車歩行者道の設置
- 通行支障となる交差点を改良し、強靱な道路ネットワークを構築



「地域の声」との関連

- ▶災害に強い道路網の整備
- ▶地域の活性化を支える拠点間を結ぶ道路の整備
- ▶観光を軸とした地域活力に繋げる道路の整備

凡例

- 拠点間ネットワーク整備事業
- 拠点内道路空間整備事業
- 参考掲載事業 (国・NEXCO・市町)

- 高速・有料道路
- 新名神計画道
- 国
- 主要地方道・一般県道
- J R 在来線
- J R 新幹線
- 私鉄
- 市境界
- 県境界
- 市役所
- インターチェンジ

参考掲載事業 (国・NEXCO・市町)



事業主体	整理番号	路線名	工区名	事業内容	継続	前期(R5~R9)		着手時期検討
						着手	完了	
国土交通省 NEXCO	①	国道8号	川崎町	電線共同溝	-	-	-	-
	②	国道8号	米原バイパス	バイパス整備	-	-	-	-
	③	北陸自動車道	(仮称)神田スマートインターチェンジ	-	-	-	-	-
長浜市	④	(都)大戌亥山階線	宮司・大辰巳	道路拡幅	●			
	⑤	(都)地福寺神照線	八幡東	道路拡幅	●		●	
	⑥	市道石田宮司線	石田・七条	道路拡幅	●			
	⑦	市道速水6号線	速水	道路拡幅	●			
	⑧	市道南田附東加納線	加納	道路拡幅	●		●	
	⑨	市道堀部南田附線	南小足・南田附	道路拡幅		●		
	⑩	市道南呉服南南呉服上線~市道宮豊国神社線~市道南呉服南日吉線	南呉服	道路拡幅		●		
米原市	⑪	杉澤弥高線	杉澤	道路拡幅	●			
	⑫	板戸市場線	烏脇	道路拡幅	●			
	⑬	磯六川入江線	入江	道路拡幅		●		
	⑭	(仮)顔戸長沢線	高溝	バイパス整備	●		●	
	⑮	長岡志賀谷線	長岡・志賀谷	バイパス整備		●		

今後の道路ネットワーク整備に向けた検討

10年間の実行計画であるアクションプログラムとは別に、各地域における課題の解消に向け、今後の道路ネットワークやまちづくりに必要と考えられる次の対象路線について、整備効果・手法(事業主体、旧道移管等)、具体的なルートや構造等の検討が必要であるため、事業の必要性・優先度の整理を市町とともに行います。

1 【仮称】東野虎姫道路 (長浜市宮部町付近~長浜市酢付近)



2 【仮称】大鹿寺倉道路 (米原市能登瀬付近~米原市寺倉付近)



長浜・米原地域(旧伊香郡を除く)は、関西圏・中部圏・北陸圏の結節点に位置し、北陸自動車道、名神高速道路、国道8号、国道21号、国道365号などの幹線道路が整備されています。域内では、この20年間で小谷城スマートインターチェンジや新横山トンネル・観音坂トンネル、びわ大橋等が開通し、利便性も向上しました。しかしながら、激甚化・頻発化する災害に対し、特に大雪時に交通混乱が生じるなど道路網の強靱化が課題となっています。

また、今後ますます少子高齢社会となることが推測される中、誰もが安全で安心して移動できる道路空間の創出が課題となっています。とりわけ、子どもたちの命を守る通学路等の確保は重要です。

一方、この地域では、交通網等の利便性を活かし第2次産業が集積し、豊かな自然や歴史文化に培われた観光産業も発展しています。こうした産業を通じて、さらに地域を活性化させるため、これらを下支えするインフラの整備が必要となっています。

アクションプログラムの見直しにあたり、令和4年8月から4回にわたり地域ワーキングを開催しました。ここでは、地域の課題の抽出やその課題を踏まえた今後の道路整備について、様々な立場の委員の皆様から意見を頂いてきました。これらを以下の4項目に「地域の声」として取りまとめ、今後の地域の道路整備における礎とします。

① 災害に強い道路網の整備

災害の発生時において、誰も取り残さないようにするため、国・市等とも連携し、相互に補完できる災害に強い道路網の整備が求められます。

② 安全・安心を確かにする道路空間の整備

誰もが安全で安心して利用できる道路とするため、連続性を考慮した通学路等の歩道整備や交通安全対策、ユニバーサルデザイン・バリアフリー化を推進する道路空間の整備が求められます。

③ 地域の活性化を支える拠点間を結ぶ道路の整備

産業の発展と地域の活性化を支えるため、鉄道駅やインターチェンジ、公共機関や病院等の拠点間を結ぶ道路の整備が求められます。

④ 観光を軸とし地域活力に繋げる道路の整備

魅力ある豊富な観光資源を活用し、ナショナルサイクルルート「ビワイチ」とも連携し地域の活力につなげるため、観光地へのアクセスが向上する道路の整備が求められます。

